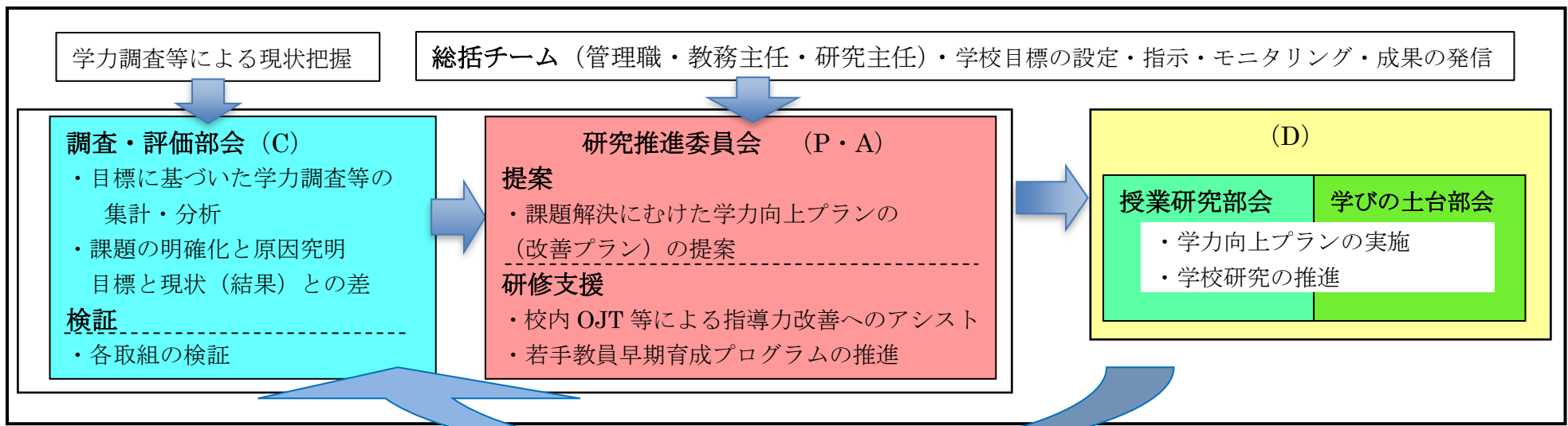


<鹿西小学校学力向上ロードマップ>



鹿西小学校 めざすゴール		
	学力向上プラン	指導力向上プラン
令和5年度 長期目標	各種調査問題で通過率 活用75% 以上 「課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ」 「話し合う活動で考えを深めたり広げたりすることができる」 意識調査において「肯定的に回答する児童・教師」90% 以上	
中期目標 1学期①	活用問題 通過率 抽出問題にて 65%以上 教師の行動観察・記述分析における到達度調査 65%以上	学習に関する児童の意識調査 肯定的回答80%以上 児童の姿に関する教師の意識調査 // 80%以上
2学期②	活用問題 通過率 抽出問題にて 70%以上 教師の行動観察・記述分析における到達度調査 70%以上	学習に関する児童の意識調査 肯定的回答85%以上 児童の姿に関する教師の意識調査 // 85%以上
3学期③	活用問題 通過率 抽出問題にて 75%以上 教師の行動観察・記述分析における到達度調査 75%以上	学習に関する児童の意識調査 肯定的回答90%以上 児童の姿に関する教師の意識調査 // 90%以上
短期目標	月毎の取組の共通実践(90%) (学力向上ロードマップでチェック) (授業実践(公授業) 月に1回のペアでの実施)	

【ロードマップ】

月	学力向上関係行事等	総括 ◎学校長 教頭	C 調査・評価部会 ◎教務主任(小林) (板谷)		PA 研究推進委員会 ◎研究主任(石橋) 教務(小林) 指導力向上(大演) 学力向上(宮元)		D 授業研究部会 ◎指導力向上担当(大演) (真木, 三宅, 山本)	D 学びの土台部会 ◎学力向上担当(宮元) (上田, 桶成, 北野, 稲實)	全員
			集計・分析 (小林)	検証 (板谷)	研修支援 若プロ推進 (小林)	学力向上 授業研究 (大演)	学びの土台 (宮元)	授業研究・指導力向上 (真木, 三宅, 山本)	
4	【前年度】児童の実態 研究成果と課題 各調査結果	◎学校長 教頭	成果 ・自分たちで課題の設定ができるようになってきた。 ・学び合いで学習に前向きに取り組めるようになってきた。 課題 ①「聞く」力などの学習の土台が弱い。 ②自分で問題を解くことができる児童が少ない。(明確な自分の考え) ③自分に自信のない児童が多い。 ④自分の成長に気付けない。	分析・検証方法を設定	学力向上ロードマップの提案 校内研修会 要請訪問計画 若プロ計画 RM部会	学習目標を吟味・設定 スキルタイム集会の企画 教室掲示案周知	授業スタイル、授業の進め方等の 掲示物準備 学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発 授業の取り組みに関するスキルタイム集会の計画 要請訪問の担当者の割り当て 公授業の周知	スキルタイムの方向性を決定 基本的な生活習慣・学習習慣の周知 6星パワーのモデルを全校児童に周知→スキルタイム集会の企画 相互授業参観の実施に向けての方針策定 →基盤・規律の確認	前期学力向上プラン共通実践
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">R5版 前期学力向上プラン</p> <p>【授業での取組】</p> <ol style="list-style-type: none"> 問題を解決したと実感できる「単元デザイン」 <ul style="list-style-type: none"> 2回のふり返し 単元の終末のふり返し 課題③④→検証方法★3★4★5 45分の授業で <ul style="list-style-type: none"> ☆問題を解決するための「学び合い」(展開の場面で) <ul style="list-style-type: none"> ペアやグループ、全体で 学ポイントで焦点化 条件の設定など教師の働きかけ 課題②③→検証方法★2★3★4 ☆問題を解決したかを「明確にする」(終末の場面で) <ul style="list-style-type: none"> ふり返し(タブレットやノート、ワークシートで) 適用問題を解く時間の設定 アウトプット(説明や録音) 課題→②検証方法★1★2★5 <p>【授業以外で取組(基盤づくり)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆学びに向かう姿勢作り <ul style="list-style-type: none"> 6星パワーの共通実践 課題①→検証方法★2★3★4 →スキルタイム集会で「おひろめ会」 ☆「聞く」力の向上 <ul style="list-style-type: none"> 1学期で「聞く」の徹底 課題①→検証方法★2★3★4 </div>									
5	研究主任 連絡協議会	取組状況 モニタリング	授業整理会の準備・運営 各学力調査 処理・分析 (課題発見) (原因究明) →共通理解	鹿西っ子 アンケート 内容検討→ 実施	若プロタイム① 若プロの日① RM部会	授業スタイル等、授業の 進め方提案 指導案の書き方・授業整 理会のあり方 公授業参観シートとふ り返しについて提案	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するスキル タイム集会の実施 要請訪問の担当者の割り当て修正 公授業の実施→ふり返し	スキルタイムの取り組み確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組 スタート 6星パワーのふり返し 相互授業参観の実施	対策に応じた評価規準の見直し・改善
6	指導主事 訪問A 6/26(月)	取組状況 モニタリング	授業整理会の準備・運営 前期プラン成果状況検証 (検証準備) ★1活用問題 ★2授業モニタリング ★3児童アンケート ★4教員アンケート ★5児童のふり返し		若プロタイム② 若プロの日② RM部会 要請訪問①提案授業 (4年石橋:国語) A訪問指定授業 (3年理科:宮元)	前期学力向上プランの 検証方法の確認 役割明確化シートによ る進捗状況の確認 公授業参観シートとふ り返し	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するスキル タイム集会の実施 要請訪問の担当者の割り当て修正 公授業の実施→ふり返し	スキルタイムの取組確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組 6星パワーのふり返し(前月比較) 相互授業参観の実施・キラキラさ んカード	

7	県基礎学力調査結果公表	取組状況 モニタリング	授業整理会の準備・運営 データ処理・分析 課題発見 原因究明	若プロタイム③ 若プロの日③ RM 部会 要請訪問② (6年小林:外国語)	1 サイクル目の進捗状況の確認・検討	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するスキルタイム集会の実施 要請訪問の担当者の割り当て修正 ㊦ 授業の実施→ふり返り	スキルタイムの取組確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組 →長期休暇中の取組について 6星パワーのふり返り (1学期) 相互授業参観の実施 (5月と比較)	
<p>前期プランの検証の概略</p> <p style="text-align: center;">← C ←</p> <p style="text-align: center;">1 サイクル目の検証結果</p>								
8			データ処理・分析 課題発見 原因究明	前期学力向上プラン 成果状況検証	OJT RM 部会	校内研修全体会 (2学期の授業づくりについて確認) スキルタイム集会の企画・運営 (学習規律・学び合い)	前期取組の検証 夏休み家庭学習の実態把握 前期取組の検証	
<p>後期学力向上プラン提案 【前期学力向上プランの継続 + 後期学力向上プラン】</p> <p style="text-align: center;">1 サイクル目の検証結果</p>								
9		学校目標 長期・2学期②の確認 教員モニタリング		2 サイクル目 分析・検証方法を設定			学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するスキルタイム集会の実施 要請訪問の担当者の割り当て修正 ㊦ 授業の実施→ふり返り	スキルタイムの取組確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組 6星パワーのふり返り (前月比較) 相互授業参観の実施
<p>→ D →</p>								
10			第2回鹿西っ子学習アンケート実施・集計	課題発見 原因究明 (鹿西っ子アンケート)	RM 部会 若プロの日④ 要請訪問③ (5年大濱:算数)	後期学力向上プランの 検証方法の確認 スキルタイム改善案 評価問題対策提案	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するスキルタイム集会の実施 要請訪問の担当者の割り当て修正 ㊦ 授業の実施→ふり返り	スキルタイムの取組確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組 6星パワーのふり返り (前月比較) 相互授業参観の実施
11					要請訪問④ (年上田:体育)	スキルタイム見直し期間 (T/T・習熟度別)	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するスキルタイム集会の実施 要請訪問の担当者の割り当て修正 ㊦ 授業の実施→ふり返り	スキルタイムの取組確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組 6星パワーのふり返り (前月比較) 相互授業参観の実施
<p>後期プランの検証の概略</p> <p style="text-align: center;">2 サイクル目の検証結果</p>								
12	評価問題 I		採点集計 データ処理・分析 校内活用問題実施・集計	課題発見 原因究明 (評価問題 I)	RM 部会 若プロの日⑥ 要請訪問⑤ (1年山本:算数)	冬季休業中課題の提案	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するスキルタイム集会の実施 要請訪問の担当者の割り当て修正 ㊦ 授業の実施→ふり返り	スキルタイムの取組確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組 →長期休暇中の取組について 6星パワーのふり返り (2学期) 相互授業参観の実施(10月と比較)
<p>→ A →</p> <p style="text-align: center;">← C ←</p> <p style="text-align: center;">R3版短期学力向上プラン提案【前期学力向上プランの継続 + 後期学力向上プラン】</p> <p style="text-align: center;">2 サイクル目の検証結果</p>								
1	中能登	学校目標 長期・3学期③の確認 教員モニタリング	データ処理・分析 (町テスト)	課題発見 原因究明 (町テスト)	RM 部会 若プロの日⑦ 要請訪問⑥ (6年真木:社会)		公開授業記録 (ICT 活用含む) の回収・実施確認・還元	
2	町テスト 結果提供		採点集計 データ処理・分析 (評価問題 I)	鹿西っ子アンケート	RM 部会 若プロの日⑧	校内研修全体会 (次年度の主題等の確認)	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するスキルタイム集会の実施 要請訪問の担当者の割り当て修正 ㊦ 授業の実施→ふり返り	スキルタイムの取組確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組 6星パワーのふり返り (3学期) 相互授業参観の実施(12月と比較)
<p>→ D →</p>								
3		次年度 学校目標 の方向性			RM 部会 若プロの日⑨	年度末課題の提案	後期取組の検証 次年度プランの方向性の見当	後期取組の検証 次年度プランの方向性の見当 後期取組の検証 次年度プランの方向性の見当
<p style="text-align: center;">次年度学力向上プランの方向性の提示</p>								

短期学力向上共通実践

※集計・分析・検証の欄の★番号(分析方法)と検証の概略の★番号(分析した結果)が対応